

校長室だより

令和8年10月30日（金）
第 27 号
十日町市立中条中学校校長室

令和8年度 中条中学校合唱コンクール

10月22日（木）に越後妻有文化ホール「段十ろう」で、中条中学校合唱コンクールを行いました。平日にもかかわらず多くの保護者、地域の皆さまにご来場いただき、生徒への激励をしていただきました。成功裏のうちに開催できたことは、十日町市や指定管理者当局のご支援の賜物だと感じております。大変ありがとうございました。ここで、合唱コンクールの位置づけと振り返りを私なりにまとめさせていただきます。



合唱コンクールの位置づけ

合唱コンクールは、学習指導要領の中では、「特別活動、学校行事、文化的行事」に位置づけられています。文化的行事で身に付けたい資質・能力は以下のとおりです。（一部抜粋）

- (f) 日ごろの学習活動の成果の発表を通して、各教科などで習得した知識や技能を更に深めせるとともに、発表する能力を育てたり、他者の発表等を見たり聞いたりする際の望ましい態度を養うこと。
- (i) 様々な文化的な活動を通して個性を伸ばし、自主性、創造性を高めるとともに、目的に向かい協力してやり遂げることにより成就感や連帯感を味わい、責任感と協力の態度を養うこと。

学習指導要領を受け、当校の合唱コンクールでは、以下のねらいを立てています。

- ねらい ○生徒が、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して合唱することができる。
- 合唱活動を通して生徒が主体的に活動し、学年、学級における協力の心を深める。

学習指導要領と当校の目標の観点から、合唱コンクールを振り返ってみます。

○生徒が、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して合唱することができる。

以前、こんな話を聞いたことがあります。教員を目指す教育学部の学生に「中学校時代に一番思い出に残っている学校行事は何か？」という質問に、体育祭や修学旅行よりも「合唱コンクール」を挙げる学生が多いそうです。なぜか。体育祭や修学旅行に比べて、「紆余曲折が多い行事だから」と答えるそうです。曲やリーダーを決めるときはまとまらない、生徒同士でもめる、けんかする。いざ練習が始まれば、「〇〇が歌わない」「あの子が勝手に帰った」など大小の生徒同士のぶつかり合いがあるが、相談したりしながら、だんだんとまとまっていく。そして本番には、たとえ賞がとれなくてもやりきった感であふれ、感動して終える。そんな姿が印象に残ると言います。※当校の生徒で「勝手に帰るような」そんなひどい生徒はいませんが。

教務室での先生方の炉辺談話から、様々なドラマがあったようです。その紆余曲折を経て当日があったと思います。本番はどの学級も苦労を力に変えた素晴らしい発表でした。

特に3年生の合唱はとても素晴らしいと思いました。涙腺がゆるむ感じで聞いていました。「手紙～拝啓十五の君へ～」 「証」 「いのちの歌」これらの曲に込められた歌詞や思いなど、3年生の一人一人の心の中では様々な思いが巡り、揺れ動くものがあったのではと思っています。自分の心や気持ちを整理し、仲間としてのまとまりや絆を深めてそれぞれの曲を立派に歌い切った。まさに感動ものでした。

○合唱活動を通して生徒が主体的に活動し、学年、学級における協力の心を深める。

今年度も審査員は市内で音楽教育をリードされている方にお願ひしました。先生のコメントを掲載しました。ご覧ください。今年の評価は、歌い方のアドバイスが多くありました。それだけ、高いレベルでの評価であったと感じます。態度等も含め基本的なことは身に付いている上での戦いであったと思います。また、指揮者や伴奏者に対する評価が高かったことも特筆に値します。リーダーとフォロワーの関わりから、感動的な合唱を披露できたと思います。



講評の最後で次につながるアドバイスをいただきました。これからの歌に生かしましょう。

- 1 視線を高くして、声を響かせる
- 2 言葉を前に出す意識を持つこと。発音をはっきり、言葉を飛ばす意識が大切です。
- 3 メロディーの流れと言葉のまとまりを意識すること。ブレスをしなくても言葉を言い直すテクニックを身に付けてほしい



各クラスの評価、コメントです。

1年1組	丁寧に大切に歌っている。「大切なものに～」の盛り上がり伝わってきた。2番頑張れ。雰囲気を変えてメッセージを伝えている。指揮者が全体をよくまとめ、ピアノ伴奏が合唱を支えていた。
1年2組	一生懸命気持ちを合わせて、指揮者と一緒に曲を作っていた。「Dreams～」の盛り上げの表現、後半に向けてよくなっていった。伴奏とても上手だけど、歌声とのバランスが…？
1年合唱	学年みんなで気持ちを一つにして伸び伸び歌っていた。女声から男声、全体と変化をつけて曲を作っていた。シンコペーションのリズムを意識できると軽快な雰囲気が出ると思う。指揮者、伴奏者とても上手でした。
2年1組	最後のユニゾン、きれい。ハーモニーもとても美しい。「ここで～」聞いている人に訴えが伝わってくる。とても上手なので、口の中がもう少し開くと、声をもっと響いてくると思う。指揮者、伴奏者とても上手でした。「空は今、青いですか」メロディーはつながっているけど、言葉を言い直す。
2年2組	指揮、伴奏が合唱をリードし、まとめていた。しっかりと歌詞に気持ちを込めていた。サビのフォルテがもう少し出るとよかったかなと思う。「ルルル～」変化を最後に向かうところ、最後の静かに歌うところ、きちんと練習している。
2年合唱	2年生全体で堂々として演奏。曲の変化を理解していて、歌詞を聞かせたり、歌声を響かせたりして、とても上手でした。最後の「ぼくら～」はとてもきれい。男子「今～」口の中を開けて息のスピードを意識して。指揮者のリードは素晴らしい。伴奏、確実でした。
3年1組	ピアノ、音色とてもきれい。しっとりとした歌い方から盛り上げていく。しっかりと曲をつくっている。メッセージが伝わってくる。歌い方も最後に向けて自信が伝わってくる。指揮者がしっかり曲をまとめていた。「拝啓、この手紙」「拝啓」で言い直す。
3年2組	きれいな女声に男声が入ってきちんと曲を作っている。リズムが難しいけど、正確に歌っているのも、もう少し言葉が前に出てくるとよい。最後の盛り上げ、みんなの気持ちがしっかりと伝わってくる。フォルテなど強弱を工夫している。安定した指揮、難しいのによく弾きこなしたピアノ、素晴らしい。
3年合唱	やわらかい指揮、美しいピアノの音色。「泣きたい～」の一体感。言葉を丁寧に伝える。弱い音でもしっかりと声を響かせられる歌い方。さすが3年生です。